

### 先週のマーケット動向(7月10日~7月14日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,299.0	1,307.2	1,260.2	1,265.8	▲39.2
JPY/KRW	9.1203	9.2893	9.1169	9.1711	+0.075
KOSPI	2,528.08	2,628.30	2,517.67	2,628.30	+101.59

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は下落。前週末の米雇用統計が弱い内容だったことで米利上げ織り込みが後退し、週初10日のドル/ウォンは1,299.0ウォンでオープン。オープン後はドル買い需要に押され買い戻され1,307.2ウォンの週高値をつけた。その後、11日と12日は米CPIを控えた警戒感から米金利が低下したことを受けてドルウォンは軟調地合いで推移。12日海外時間に発表された米6月CPIはインフレの減速を印象付ける内容だったことから、米金利が低下。ドル売りの流れにドル/ウォンは急落。13日にはBOKが4会合連続で政策金利の据え置きを決定するも相場の影響は限定的だった。週末までドル/ウォンは上値重い推移が続き、14日に週安値の1,260.2ウォンをつけた後、前週末比▲39.2ウォン下落した1,265.8ウォンでクローズした。

### 今週の見通し

今週のドル/ウォン相場は反発する展開を予想。先週は米CPI結果を受け、米国のインフレ減速・利上げ織り込みの後退から米金利が低下し、ドル全面安となった。足許ドル売りによる調整は一段落したと見え、今週は新たな材料探しの相場に。週初は中国から複数の経済指標が発表される。中国経済への懸念は根強く、指標が弱含めばドルの買戻しが想定される。その後も、米国の経済指標など好結果となった場合はドルは強含むだろう。ドル/ウォンは海外材料を睨みながら、先週比反発推移する展開を予想する。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1255 ~ 1285	9.00 ~ 9.30	137.0 ~ 140.0

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

### \* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



### \* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



### 今後の予定

- 17日(月) 米 7月 NY連銀製造業指数  
中 6月 小売売上高  
中 6月 鉱工業生産  
中 2Q GDP
- 18日(火) 米 6月 鉱工業生産  
米 6月 小売売上高
- 19日(水) 米 6月 住宅着工件数  
欧 6月 CPI 確報値
- 20日(木) 米 7月 失業保険新規申請者数  
欧 7月 消費者信頼感指数 速報値  
米 6月 中古住宅販売件数  
日 6月 貿易統計
- 21日(金) 日 6月 CPI